

人は死んで名をのこす

小宮金のところ集団探検をしていった宮崎県の
 せせと存？たあ尋へ行つてお乳をいいていと
 当時六年生だった女権三十人ほどでお尋の虫
 か今在 探検から三十年以上たつていたがお
 尋にフくと存？かしさバニヤが^あた

ゆあきをしていた庫裏はそのま、庭は今も

~~そのま~~ ^堂 本集はしーんとし

ておせし吾の番りがただよつていた

印位職はもういり？しやうなく奥さまはお

めにあつた

国からう援助もなく官紳の湖邊にどく存に

大變だつたか、それ存中會事とさせてもうつた

のだ あくお乳を言つて金はトシおかきり

と存うた 哲人は仙台を見學してかえること

に存り知りあいの月さん此案内をしてもうつ

た あちこち行くのがはとんど忘れろおぼえ

ていぢい、ただ伊達政宗の像は少可いといふ

い、Aさんの手配で伊達郷十石代當主に来て

まゝい伊達政宗の像のひる建物9鏡をあけて

をらうた

政策はミイラで少し小さいがオチンとした

とで立ちで政策つてすびいりて思つたのを

今ま心にのこつていり一瞬には御見去る者

いの^の転わ^のび^のざ^の鉄を^のあ^の中^のに^の手^ので^のく^の山^のた^の十^の六^の代^の当

主の若い青年に感謝する

小学校一年の^{時の}テストにトラは死んで皮をの

こす人をは死んで何をのこすかに私は骨をのこ

すとかいてバツだつた人海名をのこす如正

解おそうた 政策の像を欠いた輝平堂にそうだ

と書いた 政策を知らない人はいない